

## 新優良企業の年収ベスト30

順位	企業名	業種	従業員数[人]	平均年収[万円]	平均年齢[歳]	40歳推定賃金[万円]	事業内容・特色(東京以外の本社所在地)
①	スクウェア・エニックス・HD	情報・通信	17	1786	41	1731	ゲーム大手の持ち株会社。「ドラクエ」など主軸
②	フジ・メディア・HD	情報・通信	25	1452.1	44	1290	子会社に民放キー局。若者向け番組が強い
③	スカパーJSAT HD	情報・通信	16	1322	48	1085	CS放送と衛星事業の運営
④	日本テレビ放送網	情報・通信	1163	1262.7	41	1224	読売グループの民放キー局
⑤	RKB毎日放送	情報・通信	223	1153.9	42	1086	テレビとラジオ局を兼営。毎日系。(福岡市)
⑥	野村総合研究所	情報・通信	5621	1140.2	37	1251	野村証券系のIT企業
⑦	SRA HD	情報・通信	14	1131.5	52	877	独立系のシステム開発一括受注企業
⑧	アクセル	電気機器	71	1126	37	1236	音源用などのLS開発メーカー。パチンコ関連が強い
⑨	アステラス製薬	医薬品	5737	1034.8	41	1003	医薬品国内2位。海外売上高比率は約5割
⑩	キーエンス	電気機器	1994	1008.7	33	1361	制御機器に強い。生産は外注。(大阪市)
⑪	日本M&Aセンター	サービス	94	985.7	35	1156	会計士・税理士共同出資のM&A仲介会社
⑫	武田薬品工業	医薬品	6546	953.5	39	988	国内医薬品首位。海外比率が約5割。(大阪市)
⑬	みらかHD	サービス	18	933.8	43	853	臨床検査薬の大手
⑭	キョーリン製薬HD	医薬品	102	904.7	41	877	持ち株会社で、子会社は中堅の杏林製薬など
⑮	日清製粉グループ本社	食品	273	903.8	42	850	製粉で首位。パスタなどにも強み
⑯	東京汽船	倉庫・運輸関連	228	898.6	40	898	東京湾での曳船大手。フェリーや観光船も。(横浜市)
⑰	大東建託	建設	8751	896.8	41	869	賃貸住宅事業を地主に提案する建設・不動産業者
⑱	任天堂	その他製品	1747	893.1	36	1010	家庭用ゲーム機のソフト・ハードの王者。(京都市)
⑲	国際石油開発帝石	鉱	1139	882.2	39	914	原油・天然ガス開発の国内最大手
⑳	中外製薬	医薬品	4800	876.9	40	876	ロシュ傘下の医薬品大手。タミフルの販売元
㉑	日本高純度化学	化学	48	875.3	34	1101	プリント基板などの全メッキ液が強い
㉒	ビービー・カストロール	石油・石炭製品	128	853.6	41	827	国際石油資本BPの系列。潤滑油を製造
㉓	田辺三菱製薬	医薬品	5063	851.1	42	801	田辺製薬と三菱ウェルファーマが合併。(大阪市)
㉔	日本オラクル	情報・通信	2092	850.1	37	933	米国オラクルの日本法人
㉕	持田製薬	医薬品	1471	844.2	41	818	医薬品中堅。循環器系医薬が得意。財務力が強い
㉖	小野薬品工業	医薬品	2471	837.4	39	868	自社開発品が強く、研究開発は米国が中心。(大阪市)
㉗	生化学工業	医薬品	484	834.8	39	865	医薬品を手がけ、主力は関節機能改善剤
㉘	幻冬舎	情報・通信	81	832.3	38	887	中堅出版社。積極的な宣伝広告が特徴
㉙	ユビキタス	情報・通信	38	829.2	39	859	任天堂向けが約7割。ソフト使用許諾業務が主
㉚	石油資源開発	鉱	902	822.3	39	852	国内の原油・ガス田開発が基盤

上の一覧表のデータは企業の会計・財務データの無料検索サービス「ユーレット」(<http://www.ullet.com>)から



「ユーレット」と選ぶ給料が高い会社の条件

# 新優良企業100社 年収と「給与力」

会社員冬の時代。会社の売上高や資産も大事だが、やはり社員にとって気になるのは給料の額だろう。高給で「いい会社」はどこか。「ユーレット」にランキング作成を依頼し、新優良企業を年収で見た。

編集部 山下 努、野村昌二 編集協力 「ユーレット」主宰・西野嘉之 イラスト 中村純司



**日本M&Aセンター**

東京都千代田区。大学院では建築を専攻した能登雄太さん。顧客を迎える上で便利なのと、営業マンのアクセスを考えて東京駅近くにオフィスがある

国立大学で建築を専攻し、大学院修士課程まで進んだ能登雄太さん(30)は、学生時代から、専門外のM&A(企業の合併・統合・買収)業界に注目していた。

**経営者と直接対話も**

就職活動を始めたのは、6年ほど前。M&Aの成約件数が、業界全体で10年前と比べ4倍近く伸びていた。しかも、世界的なM&A市場の中で日本の占有率がまだ低かった。大手ゼネコなどから内定をもらっていたが、当時新卒を採用していた日

本M&Aセンターへの就職を決めた。分野の成長性を見た上で決断だった。

今回、平均年収11位にランクされた同社は、JR東京駅に隣接するオフィスビルにある。創業は1991年。後継者難に苦しむ中小企業のM&Aの増加に伴い業績を伸ばし、07年12月には、M&A専門で初の東証1部上場を果たした。今では中堅・中小企業のM&Aの実績で、業界トップだ。

社員数は94人。そのうち80人近くが営業マンで、独自のネットワークで集めた会社情報によって動いている。譲渡を希望する会社は、全国で200社を超える。譲り受け企業との交渉を担当

する能登さんも、その一人。関東地方を中心に常に十数件の案件を抱え、戦略に合致する譲り受け企業を見つけて、交渉する。M&Aが成立するのは年に4、5件。成約まで5年ほどかかることもあるが、同社ではトップクラスの営業成績だ。

給与は年俸プラス業績給。40歳で推定賃金は1100万円を超える。残業が多く仕事はハードだが、能登さんの声は明るい。「若い社員でも会社の経営者の方々と直接お話ができるのは、大手企業では経験できない大きな魅力。M&A市場は、まだまだ伸びていくと思います」  
将来は、国内のM&Aで学んだ経験を生かして、海外にも挑戦していきたいという。

photo 高井正彦